



最後の

諸屏屋わがばと

宇宙から来た

謎の AHO-G

前回までのおはなし

氷上涼介と諸屏屋わかばはクラスメイト。大した接点も無く一学期を過ごしていた二人だが突如諸屏屋の頭に着床した謎の『AHOOG』とそれを操る宇宙から来た博士・メヌヌンの故郷の人類を滅亡から救う計画に協力するために諸屏屋の絶頂データを提供することになる。

メヌヌンの提案した『電気あんま』により無事に彼女を絶頂に導いた氷上少年だったがそのデータのみでは計画は進行できずに

結局、夏休みの期間限定で

データ収集のための『男女交際』を行うことになった。

順調に交際を重ねるかに思われた二人だったが

初めてのデートではAHOOGが暴走。

ソフトクリームを舐める氷上少年の舌使いに

諸屏屋が再び絶頂させられる事態に。

さらにそのお詫びという流れから

自身の自慰姿を見せる羽目になり

恥ずかしながらも応じた氷上少年。

ところがお返しにと

快感を共有したまま行われた

諸屏屋のいつになく激しい自慰に

許容限界を超えて失神してしまう。

なんだか普通じゃない体験ばかりを重ねつつも

夏休みは進んで行く訳で。

さて、二人の行く末や如何に…。

(…ついでにメヌヌン博士の明日もどうなる?)

登場人物



氷上涼介

■ 本作の主人公。

一見冷酷で無関心を装うが実は結構お節介焼き。常識人ゆえに振り回される。友達がいらないっぽいのだが触れてあげないのが大人の優しさ。

諸屏屋わかば

■ 突然異性人の謎物体をインプラントされたにもかかわらず、積極的に協力する姿は慈愛なのか。はたまた暢気なのか。氷上くんのこととは以前から知っていた様子なのだが…。

メヌヌン博士

■ 全ての元凶である謎の宇宙人。故郷を救う熱意でデータの収集に勤しむが、その行動はもはや只のエロおやぢ。再着床時のAHOOGは改良型であり、様々な機能が追加されているらしい。

—友達を

作らない理由？
わけ

うむ…前から
気になっては
いたのだが

実際のところ
君は本来もつと
社交的だったの
ではないかね？

別に…

大した
話じゃないさ

小さい頃から
親の都合で
転校ばかり
だったからな

友達になっても

そのまま
忘れられる位なら
いっそ居ないほうが
……ってさ

……
ずっと忘れない…
大切な思い出だつて
あると思うよ？

……？

最後の



諸屏屋がば

と

宇宙から来た謎のAHO-G



実に
まずい

まずい

んじいんじいん!!

見たまえ!!

8
2 3 4 5 6 8
9 10 11 12 13 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29

今日は27日:
夏休みがもう
終わってしまう
ではないか?!

そういえば...



何が?



このままでは...



—まだ
5日もある
じゃねーか

35日もあったのに
君たちは一体
どれだけ進展
したのかな?!



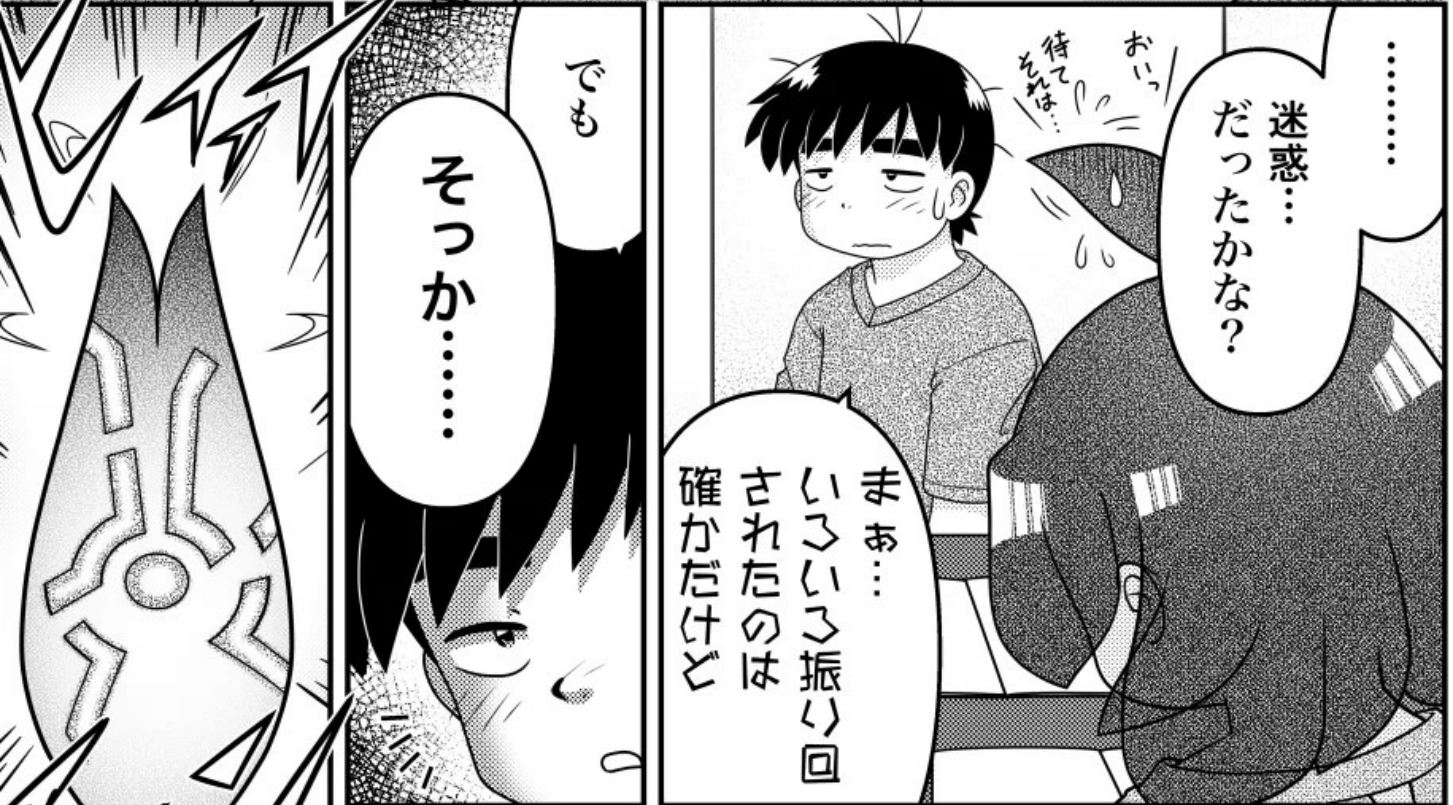


俺なんかより

—大体

最初っから人選
ミスだったんだよ

優しくって
行動力のある奴を
彼氏役にしたほうが
上手くいっただろーし



でも

そっか……

まあ……
いろいろ振り回
されたのは
確かだけど

……
迷惑……
だったかな？

おい、
待て、
それは……





エマージェンシー
モードだ!!!

まさか…
このタイミングで
発動させるとは…



な…っ

何が…
どうなってんだ
?!



エマージェンシー
モード?

— 本来は
AHOOGの
ステルス性と
装着者の安全を
確保するために…

うむ
服が勝ったのは
無理やり発動
させたからか…う

装着者側に
コントロールを移し
テレポート等様々な
拡張機能を使用可能と
するものなのだが…



…氷上少年

追わなくて
良いのかね?



じゃあ…

諸屏屋は
無事なんだな?

うむ…恐らく
私の制御は効かないが
記録を見る限りでは…

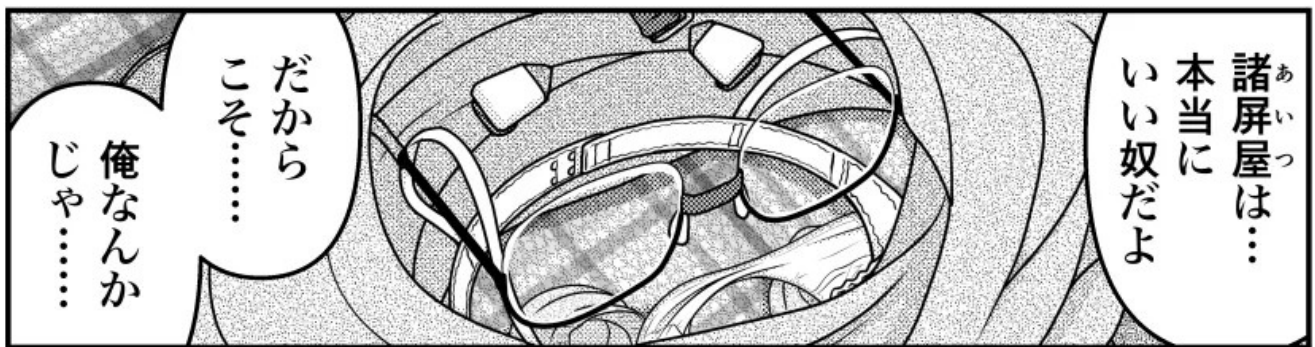


……



いっそ…

このまま本当に
終わりにしたほうが
良いんじゃないか
……？



あいつ
諸屏屋は…
本当に
いい奴だよ

だから
こそ……

俺なんか
じゃ……



見たまえ！

諸屏屋くんの
服のかたわらに
転がり出ている
金属の物体――



まったく
世話の
やける……

……
私としてはその
意見に乗っても
良いのだが――



そいつに
見覚えは
ないかね？

!!!



どつやら

君でないと
駄目らしい



調査継続に先立ち
新たな観察対象を
助言してもらおう
と訪ねた私に…
自分への
再びの着床を
申し出たのは
彼女のほうだった

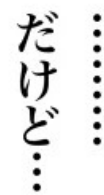
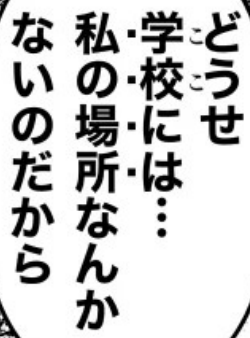


そういう

こと…かよ

6年前





お前の
その選択は……

お前自身を裏切つてはいないのか？

何も知らない
俺が言うことじゃ
ないかもしれんが…

お前がそんなに
辛そうなのってさ…
選んだその「答え」に
納得がいてないから
……だよな？

……
だけど…
私は……

ってゆーか
そもそもだ!!

そいつの
せいで

足下ばかり
しか見えてないん
じゃないのか?!

?



月のない
夜空だつて…
こんなに
明るいんだぜ？



前髪
取っ払って
見上げる
世界はさ…

にっ

誰だ!!
そこで何を
しているっ?!

カッ!

ばっ!

やっべえ!
見廻いの
警備員だ!!

—えっ?!

ここは俺が
ひきうける!!

そのスキに
反対側から
行くんだ!!

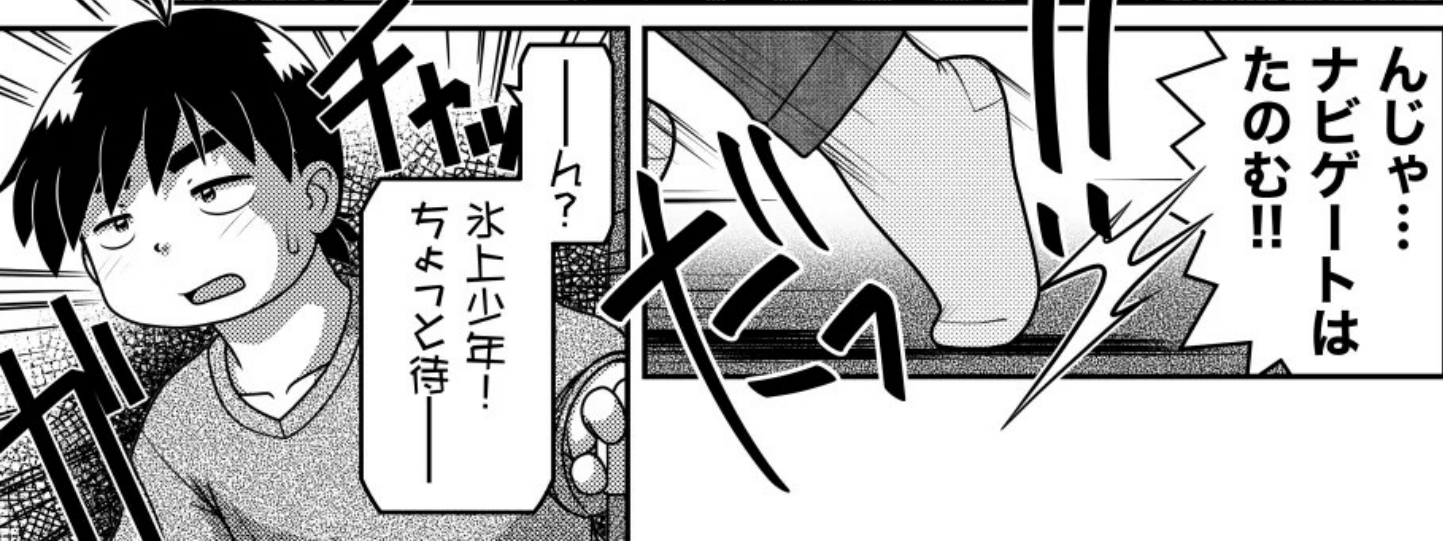
あっ!!

名ま...え...

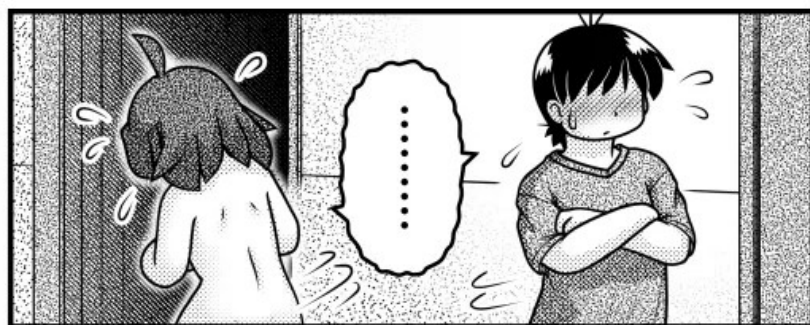
たっ!

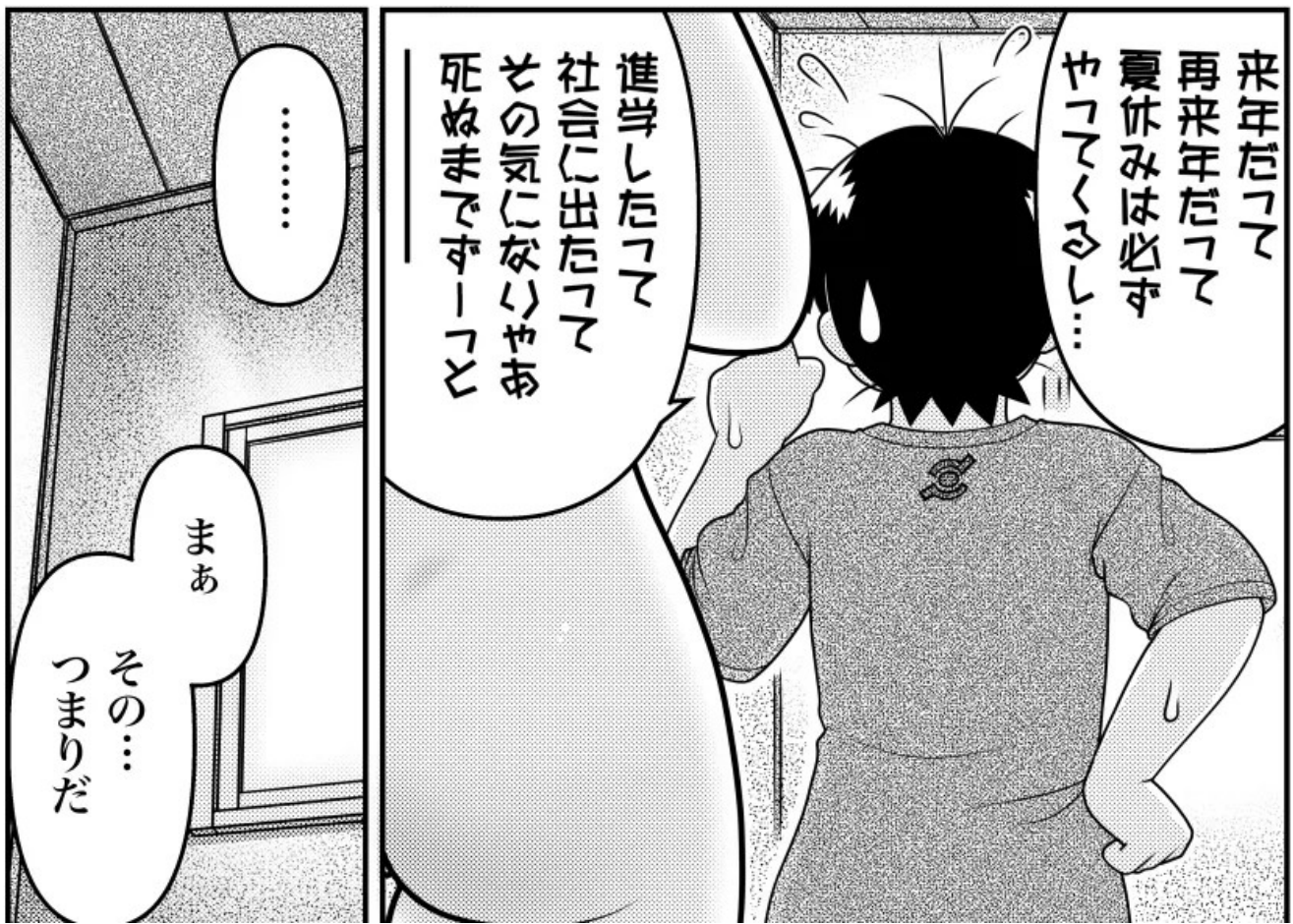
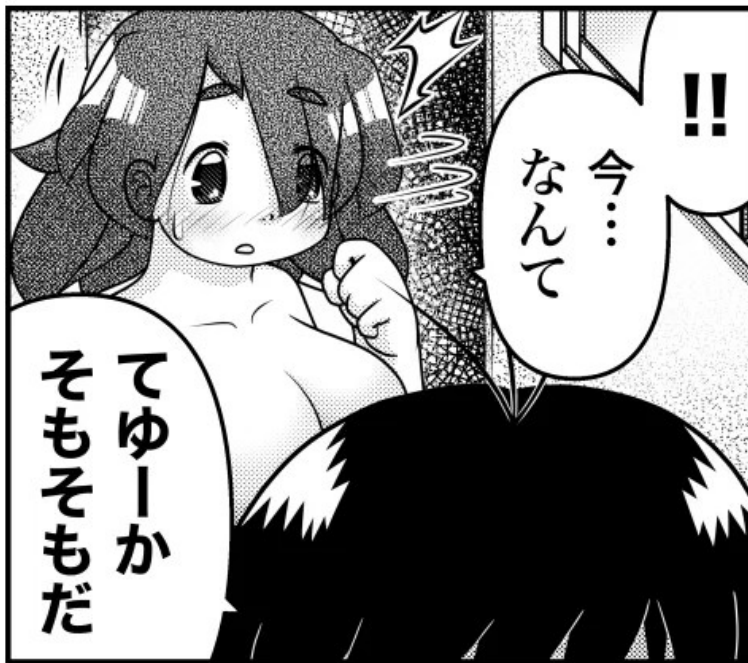
.....
?!

.....







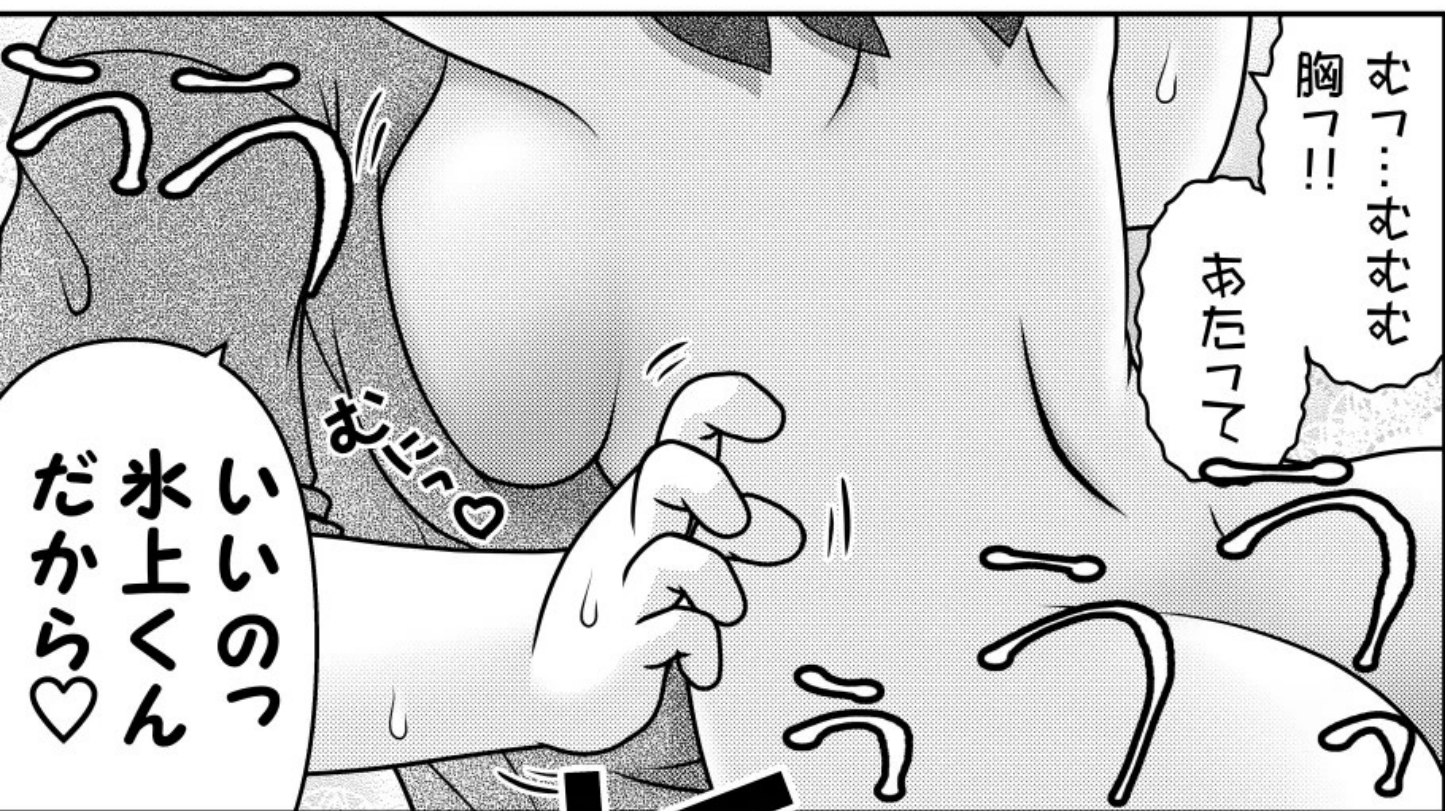


そう簡単に
終わらせてなんか
やらねーから…

覚悟しとけ
っつーことだよ







るっかん!!

ドン

ドン

ドン

ドン

諸屏屋…

氷上くんの

…あたってる

諸屏屋だつて

先ッち々…
起ッてる

氷上くん…♡



REC

まっました!

そこだっ!!
いけっ!!

おし
おし
せえ
えい
!!!



こうして

『夏休み』は
続いていく

その先には

新たな
出会いからはじまる
とんでもない事件が
あったりするのだが

その辺りはまあ

またいつかの
機会に…

Fin.